

街の魅力 歩いて発見

豊橋駅近くの水上ビル周辺を舞台にした都市型アートイベント「sebone (せぼね)」実行委員会は、毎月最終土曜に街中を歩いて見て回る「sebone 駅南まち歩き」を始めた。担当者は「街中を楽しく歩いてもらい、街をよく知ってもらいたい」と呼び掛けている。

(中山梓)

豊橋駅南で月1回催し

水上ビルは駅南にあり、トをビル周辺で開いてお市内を流れる牟呂用水の上り、市内外の芸術家が作品に立つビルの通称。市民らに水上ビルの店舗内や周辺でつくる実行委は、芸術の展示している。今年も九力で人と街を元気にしよう。月下旬に企画している。と毎年、このアートイベント。実行委は、参加者や新し



アートイベント「いろいろな人参加して」 実行委が企画

く実行委に入ったメンバーに、駅南を知ってもらい街を好きになってもらうおとうと、四月二十七日に街歩きを始めた。

五月二十五日の街歩きには、地元商店主や愛知大学の学生、実行委員ら三十人が参加。豊橋駅南の穂の国とよはし芸術劇場プラットを発着点に、商店主らの説明を受けながら、水上ビル周辺や旧バスターミナルなどを見て回った。

参加者らはプラットに戻ると、「階ロビーの「交流スクエア」で意見交換。愛知大一年の松永恵美さん(こ)は「水上ビルの花火屋や駄菓子屋など、普段はなかなか行くことのない場所に行けて良かった」と話した。

実行委の黒野有一郎さん(い)は「街を知ってもらおうのには、歩いてもらうことが一番。いろいろな人に参加してもらいたい」と呼び掛けている。

次回は六月二十九日午後を予定している。問い合わせは黒野さんへ。電0532(56)0170へ。

水上ビル周辺を歩いて見て回る街歩きの参加者ら。豊橋市駅前大通で